【人口の将来展望】 将来人口推計①（総人口）（盛岡市総合計画基本構想）

- 急激な人口減少を緩和するため、人口対策を更に強化し、その効果が着実に表れることを見込むこととし、盛岡市総合計画基本構想（令和7（2025）年度～令和16（2034）年度）において本市の将来人口を推計した。
- 令和17（2035）年における推計人口は、令和2（2020）年の実人口と比較して約9%（25,076人）減少するものの、社人研推計人口より2,450人多い264,655人と見込み、これを目標値としてまちづくりの取組を推進する。

盛岡市の令和6年(2024年)推計人口と社人研令和5年(2023年)推計人口の比較

【推計条件】①推計方法…コーホート要因法（出生、死亡、移動等の人口の変動要因の動向を仮定してコーホート（出生年が同じ集団）毎に将来人口を推計する方法）
 ②基準人口…2020年国勢調査人口
 ③仮定値…「子ども女性比」出生に関する仮定値（0-4歳人口の20-44歳女性人口に対する比）。2020年の実人口を基準として求めた上で、その値が将来にわたって一定に推移すると仮定して設定。
 …「生残率」ある年齢x歳の人口が、5年後の年齢x+5歳に達するまで生き残る確率。社人研推計では岩手県内の市町村で同一に設定しているが、その値よりも本市の方が高い傾向にあることからその分を考慮して設定

【人口の将来展望】 将来人口推計②（年齢区分別人口構成） （盛岡市総合計画基本構想）

- 盛岡市総合計画基本構想における年齢3区分別人口構成の推計人口では、令和17年（2035年）では、年少人口26,670人（10.1%）、生産年齢人口148,254人（56.0%）、老年人口89,731人（33.9%）と見込む。
- 計画期間の令和7（2025）年度～令和16（2034）年度の10年間において、人口減少への対応をより意識した推進体制や進捗管理などによって一貫した事業推進を図り、全市を挙げてこれまで以上に重点的・効果的に人口対策の取組を進める必要がある。

盛岡市の年齢区分別人口構成

	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)
総数	287,312	292,632	300,723	302,857	300,746	298,348	297,631	289,731	283,056	274,458	264,655	253,833	242,161	229,998
0-14歳	63,222	56,718	52,092	46,159	41,928	38,771	36,828	33,724	30,833	28,167	26,670	25,046	23,691	22,180
15-64歳	199,774	204,943	209,262	208,171	199,632	192,664	182,979	174,492	166,964	158,400	148,254	135,835	124,783	115,661
65歳以上	24,316	30,826	39,341	48,469	56,177	63,721	73,729	81,515	85,259	87,891	89,731	92,952	93,687	92,157
年齢不詳	—	145	28	58	3,009	3,192	4,095	0						

資料：盛岡市総合計画基本構想（令和7年度（2025年度）～令和16年度（2034年度））を一部加工 <https://www.city.morioka.iwate.jp/shisei/keikaku/sogotekiplan/1009760/1045034/index.html>